

市民建産常任委員会報告書

平成25年8月29日

委員長 飯尾 助広

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際しましては、平成25年7月30日と8月6日に、関係部課長の出席を求め委員会を開催いたしました。

建設産業部

水道課

給配水管漏水調査、配水管布設替工事、医王寺テレメーター設置工事の進捗状況の報告を受けました。水道事業会計決算において、平成26年度新会計制度移行のため、資産の財源整理を行ったところ工事負担金と受贈財産を二重計上している等の誤りが判明したため、24年度決算ではこれらを特別損失として計上、結果的に5,810万円余の純損失となるとのこと。福岡県が管理するため池について施設の耐震診断、機能診断が計画されており古賀ダムについては古賀市水道事業が所有しているダム使用权（全体の24.5%）に対し負担金が発生するとのこと。

下水道課

古賀水再生センター機械設備更新等5件の補助事業、8件の単独事業及び農業集落排水事業、合併処理浄化槽設置整備事業の状況について報告を受けました。古賀水再生センターの長寿命化については平成13年度より10カ年計画で取り組んできたが平成25年から5カ年計画で取り組むとのこと。

商工政策課

無料職業紹介所は4月から6月までの採用決定者が99名であり内訳は男性22名・女性77名、正社員29名・正社員以外70名とのこと。消費生活相談の4月から6月までの実績は73件とのこと。工場見学体験事業は8月22日実施予定、小学4年生から中学2年生を対象に募集中とのこと。「さと」「やま」観光PR事業は24年度より薬王寺未来委員会が発足、25年度は2回の会議を実施、「薬王寺たより初夏号」を発行したとのこと。イベントとして土曜夜市、プレミアム商品券、古賀市ふるさと大使・大吉イベント、まつり古賀についての報告がありました。

都市計画課

西濃運輸跡地について市で初めて土地所有者からの提案制度に基づく地区計画を進めており、8月より都市計画の手続きに入るとのこと。グリーンパーク大型遊具施設の更新について、業者からプロポーザル方式で企画案を募集し、市民の方のアンケート調査結果を踏まえ、7月25日の審査会で決定したいとのこと。特定用途制限地域の指定については6月議会で議決後、農業委員会、行政区長会、県等への説明を進めている。と同時に条例の施行規則を作成しており、地域住民・地権者に対しては9月の広報で概要説明と同時に市内外の地権者全てに通知書を個別郵送する予定とのこと。筵内区で進めている県開発許可条例に基づく区域指定は23年度に筵内区から手続きを進めてほしいとの要望を受け、24年度に県の下承を取り付け、区の内部協議を経て現在地元説明会を予定している。この制度には地権者の意向確認、同意が必要であり提出期限を9月13日とし同意書の集まり次第でその次の手続きに入るとのこと。まちなか暮らし・にぎわい再生事業については24年度に3件、25年度はすでに5件支出しているとのこと。その他地域の魅力再発見コンテスト、コスモスマちづくりプロジェクトについて報告がありました。

農林振興課

耕作放棄地は農業委員会が引き続きパトロールを実施、放棄地改良工事は筵内内の田3筆、2,977㎡で予定とのこと。農業振興地域整備計画の全体見直しを（財）九州環境管理協会に業務委託。農業者育成事業は今年度20歳代2名、30歳代1名を予定しているとのこと。地域農地有効利用推進事業は9農区で進んでおり今後地域回りを実施していくとのこと。その他、高収益園芸農業経営支援事業、古賀の元気おばちゃん支援事業、K-I（古賀の一品）グランプリ事業について報告がありました。松くい虫防除事業は5月31日、6月1日に33.32haを実施、荒廃森林再生事業は川原・筵内地域53haで現地調査・測量、本工事（間伐）は12月以降に小山田・谷山地区20haで実施予定。防風保安林保全事業は地権者（31名）の同意を得て本工事（樹種変換）を12月以降に実施予定。その他、朝どりこがスイーツコーン祭、農家直売！軽トラ市の開催について報告がありました。

建設課

JR千鳥駅東口駅前広場及び道路設計業務委託など16件の公共土木事業、町川原・赤間線の交通安全自歩道設置工事など13件の県事業工事の進捗状況について報告がありました。平成25年度古賀市地籍調査が谷山区で始まったとのこと。

市民部

環境課

ごみ搬入量、分別収集品目重量、古紙類等回収実績、生ごみ堆肥化容器及び生ごみ処理機器補助についての報告がありました。海津木苑の処理状況及び維持管理について4～6月の搬入量は3,104kl（昨年同期実績3,400kl）平均稼働率52.5%（同58%）とのこと。海津木苑については存続期間が残り10年となったため、関係課によるプロジェクト会議で将来構想を検討しているとのこと。環境基本計画策定について基礎調査報告書、市民事業者アンケート、ワークショップの意見等を基にその骨子を作成中。ぐりんぐりん古賀（環境市民会議）、住宅用太陽光発電システム設置補助事業、エネファーム設置補助事業、ごみ処理基本計画の策定、循環型社会研究会についてそれぞれ報告がありました。グリーンカーテンの匠事業は一般市民76名、小中学校6校に苗を配布したとのこと。

人権センター

7月1日より31日までの同和問題啓発強調月間の取組み、年6回行っているみんなの人権セミナー、古賀市人権施策基本指針に基づく実施計画について報告がありました。

市民国保課

6月末現在の人口等は人口58,937名で横ばいもしくは微減、世帯数23,715世帯で微増という状況。住民基本台帳カード交付は4～6月で84枚の実績。6月末の国民年金加入者数は13,380名（昨年同数）。平成25年度国民健康保険税賦課結果は7月1日現在で対象者数14,387人（前年比82人増）一人当たり賦課額84,668円、一世帯当たり賦課額147,081円、24年度保険料収納率（現年度分）92.48%。平成25年度後期高齢者医療被保険料賦課結果は6月22日現在で対象者数5,455人（昨年比193人増）一人当たり賦課額108,276円、一人当たり保険料（軽減適用後）82,863円、24年度保険料収納率（現年度分）99.42%。

市税課

個人市民税の25年度6月末調定額は26億5,458万円で2,345万円増、納税義務者は303人増。譲渡所得で青柳篠林地区開発関連が大きいとのこと。軽自動車税は9,865万円で343万円増とのこと。

収納管理課

平成24年度市民税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料の収入状況について報告がありまし

た。滞納処分実施状況は平成 24 年度の差し押さえ実績で給与 199 件、預金 93 件、生命保険 85 件他など 555 件となっている。ファイナンシャルプランナー相談事業は 7 月時点で 24 人の相談実績、その滞納税額が 6,250 万円でそのうち入金を目処がついたものが 2,060 万円とのこと。特別債権整理係は債権担当課への指導助言を主に納付書、督促状、差押予告書等の様式の指導、臨戸徴収の指導、債権管理台帳等の指導を行っているとのこと。
以上、所管事務調査の概要の報告を終わります。